

北広島町における公共交通再編に合わせた一連の取り組み

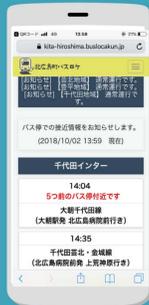
キーワード：交通結節点マネジメント、まちづくり、観光MM、マップ作成、バスロケーションシステム
 吉岡秀樹 北広島町建設課（平成30年当時、企画課） 武田侑子（株）バイタルリード

背景・目的

- 広島県北広島町では、バスサービスの向上と効率化を図り、各地域に乗継拠点を設定し、支線と広域幹線及び町内幹線を接続する「北広島町地域公共交通再編計画」を策定
- このため、乗継拠点の環境整備と魅力化、再編と合わせた新規利用者の掘起こしが課題
- 再編計画には主に児童・生徒を輸送する支線の学校の長期休暇中の運休も盛り込んでおり、運休中の交通事業者の新たな収入源も検討する必要があった

地域の公共交通利用者に向けた取組

バスロケーションシステムの構築・運用



- 乗継拠点のデジタルサイネージ、専用Webサイトで情報提供
- 路線バスの接近・遅延状況が分かる
- デマンドタクシーの位置情報が分かる
- 降雪時の路線バスの運休情報が発信されるため、通学にバスを利用する児童・生徒の保護者にも需要あり

北広島町公共交通ガイドの作成



- オモテ面がマップと時刻表、裏面がデマンドタクシーの使い方と公共交通を利用したおでかけ例で構成されたA3判のちらし
- 「おでかけ例」によって乗継拠点で乗り継ぐ移動方法を提案し、利用促進を図る

交通事業者に向けた取組

貨客混載の実験・検討 ▶▶▶▶▶ 路線バス・デマンド交通を活用した農産物の集出荷

取組の流れ

対応できる路線・エリアの確認

実証実験の計画作成・出荷者への声かけ

実証実験

本格実施に向けた課題の整理

本格実施時の運送手順（案）の検討

実験の流れ



出荷者が農産物を交通事業者へ持ち込み



デマンド交通・路線バスの回送便を利用し、町中心部の道の駅まで運搬



道の駅職員が農産物を受け取り、陳列



出荷者が売れ残った野菜の回収・精算

本格実施に向けた課題

- デマンドタクシーを使用する場合は、貨物輸送料金を通常運賃（1乗車500円）より低く設定することは難しいため、出荷量に輸送料金が見合わない場合は、出荷者協議会である程度負担するなど、新たな仕組みを考える必要がある
- 交通事業者・道の駅の負担軽減のため、出荷に使用する便を限定する必要がある（回送便を利用すれば、道の駅側が到着の目安を持ちつつ、出荷者・交通事業者も時間にゆとりを持つことが可能）
- 運搬に使用したコンテナを、別途回収・出荷者のもとへ運搬する必要がある（まとめて回収する、スクール便で回収する等の工夫が必要）

公共交通を活用したツアー構築・実施 ▶▶▶▶▶ タクシーで巡る、北広島町の地酒と自然

取組の流れ

行程の検討・行程表作成

目的施設との協議、タクシーの手配

参加者募集チラシ作成、声かけ

モニターツアー実施

アンケート結果とりまとめ、施設へヒアリング

本格実施時の課題の検討

ツアーの行程

広島バスセンター集合

大朝インターバス停でジャンボタクシーへ乗り換え

ホッコロわいなりで醸造所の見学と試飲

- ワインの製造工程等の説明を受け、醸造所内を見学、その後試飲。
- 地元産のジャム、自家製カッテージチーズ等を用意していただいた。
- ワインを購入する参加者もいた。



テングシデ群落の見学



小野酒造で試飲

- 会社の歴史や種類別の製造方法を受けながら、5種の日本酒を試飲。
- 大半の参加者がお土産のお酒（1〜3本）を購入していた。



道の駅舞ロードIC千代田「レストラン響」で昼食

- 地元の野菜を使った和洋創作料理をバイキング形式で食べた。
- 日本酒を飲酒またはお土産として持ち帰った。

モニターツアーアンケート記入、道の駅を散策

千代田ICから高速バスに乗り

広島バスセンター解散

ツアー参加者の声

- 80代 男性：ワインも日本酒も、もう少し原点や歴史をアピールしてほしい。
- 40代 女性：参加費が9,600円であれば、見学場所を増やして1日かかるツアーにした方が良さそう。市内在住者が北広島町でお酒を飲むには、こういったバスツアーがあると良い。
- 60代 女性：時間が短い。もう少し時間をかけて見たい。9時出発で17時に帰れるくらいが良い。

本格実施に向けた課題

- 今回はモニターツアーなので、個別に声をかける形で参加者を募集していたが、今後は継続的に町外からの参加者を募集し続けていくための仕組みが必要（「あいのりタクシー」等）
- 満足度の高い、充実したツアーとするためには、さらなる受け入れ先の確保や不要なオプションを排除した上での適正な価格の設定が必要
- 目的地となる施設だけでなく、移動中にも地域の歴史や情報をPRできるように、町内の交通事業者全体で観光タクシードライバーの育成を図る必要がある。